



焼酎、食、ロケーションを堪能 新和deKANPAI Season4



▲船の上でカンパイ!

4月7日、天草酒造蔵元一帯で新和グッドカンパニーズ主催の「新和deKANPAI」が開催されました。焼酎の鏡割りでスタートしたイベントは、船上焼酎バーやブリの解体ショーなど内容盛りだくさん。今回は、竜洞山みどりの村キャンプ場も会場に加わり、海だけでなく山でも天草のうまかもんが楽しめました。山頂では絶景をおかずに焼酎が進み、横になってくつろぐ参加者も見られました。

来たぜ! 天草 泉谷しげるアートオブライヴin天草



▲高校生と書道パフォーマンスする泉谷さん

歌手・俳優・アーティストと多彩な才能を持つ泉谷しげるさんが、4月6・7日に開催された天草桜まつりに参加。高校生と書道パフォーマンスを披露し、会場は大いに盛り上がりました。泉谷さんのアート作品も銀天街内のギャラリーに展示され、写真やサインに応じていた泉谷さん。「今日はどこからこんなに人が集まったんだ! もっと天草盛り上がりうぜ」とパワーを注入していました。

春の潮風にのり泳ぐこいのぼり 倉岳大えびす像公園



▲泳ぐこいのぼりのようす

4月12日、倉岳町宮田の倉岳大えびす像公園にこいのぼりが揚げられ、訪れた観光客や地域の人たちを楽しませています。

宮田地区振興会が、子どもたちの健やかな成長と地域の活性化を目的に、同公園のほか同地区コミュニティセンターに毎年飾っているもので、5月20日頃まで楽しむことができます。えびす様をバックに元気に泳ぐこいのぼりを見に来ませんか。

200本の桜並木で春を満喫 一町田さくらまつり



▲桜並木を歩く参加者

3月30日、一町田地区振興会主催の「一町田さくらまつり」が開催されました。一町田川沿いを散策する5kmと河内浦城跡公園を通る3kmのコースに約300人が参加。

満開を迎えた桜並木や春の景色を楽しみながら歩いた参加者は、ゴール後にお楽しみ抽選会で大盛り上がり。青少年音楽祭もあり、小・中学生によるピアノや吹奏楽部の演奏に地元住民らが聞き入りました。

クローズアップ あまくサン

導かれてこの地へ来た

山下 ^{おさむ}修さん・祐子さん家族
(倉岳町在住)

「この景色、最高でしょ。この場所に最初に立ったときに、ここだ!! と思ってたんです」
神奈川県茅ヶ崎市出身の山下修さん(40歳)は5年前、家族5人で倉岳町に移住してきた。20代の頃から田舎暮らしに興味があり、妻の祐子さんといっしょには、妻の思いがあった。海外をのりまわりのまま旅した経験から「人は自然の中で、土の上で生きている。自分もそんな暮らしがしたい」との思いが強くなった。そんな折に起こった8年前の東日本大震災が

きっかけとなり移住先を探し始めた。
一度は、熊本県内の山あいに移住したが、「海が見えるところで暮らしたい」と天草へ向かい今の場所にとどまり着いた。
山を開き、車で寝泊まりしながら家を建てた。最初は、水道も通っておらず、みんなで麓まで水を汲みに行っていた。傍から見れば、心は満たされ、生きていることの意味を感じる日々だった。
天草で美容師として働いていた修さんだったが、農業を中心にやっていたと取り組み始めた矢先に病が発覚。でも2人に悲壮感はなく、「病もなぜか受け入れることができていた。発症がここでの生活が落ち着いた今でよかった」と笑顔で答えてくれた。
音・水・仙(人と山)・空。4人の子どもの名前にある字は、まさに今の環境を表している。
「天草は人が生きていくうえで必要なものがコンパクトにまとまっている」と話す山下さん家族は、天草が持つエネルギーを全身で感じ取っていた。



▲開墾のときに伐採した木は薪として活用



▲寝泊まりしていた愛車



▲一瞬で心奪われた自宅前からの景色



各地の話題はホームページのトピックスでチェック!!

かかし村オリンピック競技開始 第6回宮地岳かかしまつり



▲かかしと一緒に綱引きにチャレンジ

3月24日、宮地岳町のかかし村広場で開村式がありました。今年のテーマは「かかし村オリンピック」。来年に迫った東京五輪を盛り上げようと運動服を着たかかしたちが鉄棒や平均台など陸上競技を披露しています。聖火台も準備され、たくさんのかかしが選手団を応援しています。

初めて訪れたという人は、「顔が一体一体違うので飽きずにおもしろい」と話していました。5月6日まで展示されています。

そよそよ春の香りただよ 青のり収穫最盛期



▲風にゆらめく青のり

新和町の大宮地川では、3月上旬から下旬にかけて青のりの収穫が行われ、張られたロープに青のりがゆらめく光景が見られました。青のりは、海水と淡水が交じり合う河口付近に生育。地元の人たちが川底の石に生えた青のりを丹念に手で摘み取り天日で乾燥させます。地元の人たちは、「青のりに醤油をかけてご飯に乗せれば、風味もよくておいしかよ」と話していました。

潮風のなか、うまかもんを満喫 第5回鬼池港物産市



▲買い物や食事を楽しむ来場者

3月24日、鬼池港ターミナル裏の芝生広場で鬼池港物産市が開催されました。地域の農産物や加工品などの販売促進を目的に五和まちづくり協議会が主催したものです。

会場には、採れたてのワカメや地元で水揚げされた魚の一夜干し、クロメ（海藻）を使ったパンなどが並び、同日開催の鬼池天神山潮風ウォーキングを楽しんだ参加者も加わって多くの人で賑わいました。

先生、ありがとう！ 異動する先生を島民が見送り



▲「せんせーい、ありがと〜」

3月29日、4月の定期異動で御所浦町を離れる小・中学校の教員8人を、教え子や保護者ら100人が見送りました。港の栈橋には、児童・生徒たちが手紙や花束などを持って集まり先生と記念撮影。その後、海上タクシーに乗り込む先生に紙テープを渡し、みんなで船を見送りました。島を離れる先生は、「たくさん思い出をありがとう」と手を振って応え、目には涙を浮かべていました。

2つの港を結んでお祭り 牛深みなとフェスティバル海食祭withキビルフェス



▲両会場で歌を披露したご当地アイドル

3月17日、牛深港と鹿児島県長島町の蔵之元港を結んで食と遊びを楽しむ「キビルフェス」が両港周辺で開催されました。両町の若手有志が4年前から実施しているもので、会場を結ぶフェリーは往復500円の特別運賃。このイベントに合わせて商品開発した塩サイダーや晩柑クッキーのほか、約80店舗が地元特産品や手作り雑貨を販売し、会場は大勢の来場者で賑わいました。

絶景を求めて山登り 角山官山トレッキング



▲原生林を抜け山頂を目指す参加者

3月17日、天草町の福連木里づくり振興会主催で第13回角山官山トレッキングが開催されました。柔らかな春の日差しの中、島内外から参加した90人は1時間半かけて標高526メートルの角山に挑みました。

山頂は霞がかかり眺望は望めなかったものの、参加者は、「森林浴を楽しめました」と話し、地元住民によるぜんざいや子守唄のてなしを受け、交流を深めていました。

ありがとう栖本保育所 栖本保育所で最後のお誕生会・お別れ会



▲合奏を楽しむ園児

3月20日、4月から休園となる栖本保育所で最後のお誕生日会・お別れ会がありました。0～4歳までの全園児で歌を歌って3月生まれの涼ちゃんをお祝い。その後のお別れ会ではパネルシアターや合奏・バイキング給食で保育者と楽しい時間を過ごしました。

保育士たちは、「4月からは新しいお友だちや先生とたのしく過ごしてください」とメッセージを伝えていました。

島子に春が来た！ しまご春まつり



▲バルーンのプレゼントに喜ぶ子どもたち

3月24日、有明町の島子グラウンドで地区振興会主催の「しまご春まつり」が開催され約300人が来場しました。地元の琉球國祭り太鼓エイサーによる太鼓演舞や大道芸人による顔の面が一瞬で変わる変面、バルーンショーなどで盛り上がりしました。

景品が当たる抽選会も実施され、来場者は、「桜の開花はまだだったけど、みんなが集まって楽しかった」と話していました。